



四街道市議会議員

よしのり

成田芳律

33才

【討議資料】



ミニヨッピー（仮称）って？

現在四街道市内で運行しているコミュニティバスは、通称ヨッピーと呼ばれています。ヨッピーは、交通の不便な地域（路線バスが通っていないくて、日常の足がないために、様々な問題を抱えていました。）の解消を目指し、現在も試験運行を続けています。地域の大切な、移動の手段となっています。

このヨッピーについては、特に郊外をはじめ、様々な場所でヨッピーの延伸や、路線の拡充を求める声が多くあります。実際に、各地域から市に対しての要望書が毎年のように提出されています。ですが、道路幅の関係等により、改善が難しいのが現状です。普通自動車免許の返納をされた方や、日常の買い物で店に行くまでに長い時間をかけなければならない方、また病院に通いたいバスがなく、毎回タクシーを利用したり、家族に送ってもらう事に対して気が引けて、通院をためらう方もいます。

財政上の課題としても、現在市の財政約240億円のうち、約78億円（平成23年度）が社会保障費（扶助費含む）で、更に毎年1億円以上増大しています。今後も金額が大幅に上がると予測されています。自助、共助、公助の点から、健康に生活をする事による、社会保障費の抑制策が求められています。

年配の方が元気で暮らせるように、「ちょっとそこまで」を簡単にする必要が、行政には求められていると考えております。また子育て世代の家庭においても、交通手段の確保が必要です。実際に試算すると金額は異なりますが、交通政策への1千万円の投資で3千万円の社会保障費を低減する効果が見込まれれば、財政全体からは2千万円の効果となります。仮に赤字となる、つまり1千万円で800万円の効果となったとしても、「健康」で、「コミュニティが活性化」する事を考慮すれば、導入する価値はあると考えます。

そこで、ミニヨッピー（私が勝手に付けているので仮称です。）の導入や、デマンド交通や乗り合いタクシーも合わせて検討する事により、日常の足の確保と、コミュニティを活性化させる。そして、結果として社会保障費の抑制も見込めると考えています。ですが、ミニヨッピー（仮称）導入に向けての第一の課題は運賃の設定です。また責任をもって提案をさせていただいている以上、既存のヨッピーの運賃についても変更をお願いしなければならない事となります。現在は一律100円の運賃ですが、より広く多くの方にも交通手段の確保ができるよう、ご理解が得られなければ、導入は難しいとも考えています。四街道市全体の将来に必要なことを、ご理解いただけますよう、努めていきたいと思っております。

プロフィール
明治大学大学院修了（公共政策修士）
所属委員会
・議会運営委員会
・行財政改革特別委員会
・議会基本条例調査特別委員会
・環境経済常任委員会
・農業委員会

事務所連絡先
四街道市山梨1179
080-5069-8850
mcnori1228@yahoo.co.jp
ホームページ毎日更新中

